A composite image of Earth from space, showing the continents of South America, Africa, and Australia. The Earth is depicted with a waterfall effect at the bottom, where the oceans appear to be falling over the edge. The sun is visible in the upper left, creating a bright glow. The moon is in the upper right. The background is a dark space filled with stars.

世界を知る

2024.10.18校内

映画のご案内

- シビル・ウォー アメリカ最後の日
- アレックス・ガーランドが監督・脚本を手がけ、内戦の勃発により戦場と化した近未来のアメリカを舞台に、最前線取材するジャーナリストたちを主人公に圧倒的没入感で描いたアクションスリラー。

The logo features the word "Happinet" in a blue, italicized sans-serif font. A thick, light green ribbon-like graphic starts from the left, loops under the "H", and then curves over the top of the "i".

Happinet

HAPPINET PHANTOM STUDIOS

内容を振り返ってみて

- 憲法で禁じられているはずの3期目に突入し、FBIを解散させるなどの暴挙に及んだ大統領に反発し、19の州が分離独立を表明、内戦が勃発した近未来のアメリカ合衆国。テキサス・カリフォルニアが連合する「西部勢力(WF)」と、フロリダ～オクラホマにかけて広がる「フロリダ連合」は政府軍を次々と撃退してワシントンD.C.に迫り、首都陥落は時間の問題となっていた。



- 完全なフィクションでありながら、トランプ氏が公言しているFBI改革なども盛り込まれている。
- アメリカの分断が極限に達した時にどうなるのか
- 同じ国民同士が殺し合う姿は余りにも悲惨なものでした

先日宮崎空港で不発弾が爆発

- この時に不発弾がまだ爆発する力を持っていると実感
- 時々不発弾が発見され自衛隊の処理班が処理したというニュースが流れる
- 72～22年 117,856件の不発弾が処理されている
- 2023年だけでも2348件の処理 > 1日6件以上
- 沖縄が1/4 > 処理が終わるまで70～100年かかる
- 太平洋戦争で投下された爆弾が不発で残った
- 発見されると周辺の住民は避難し安全を第一とする

世界で広がる異常気象

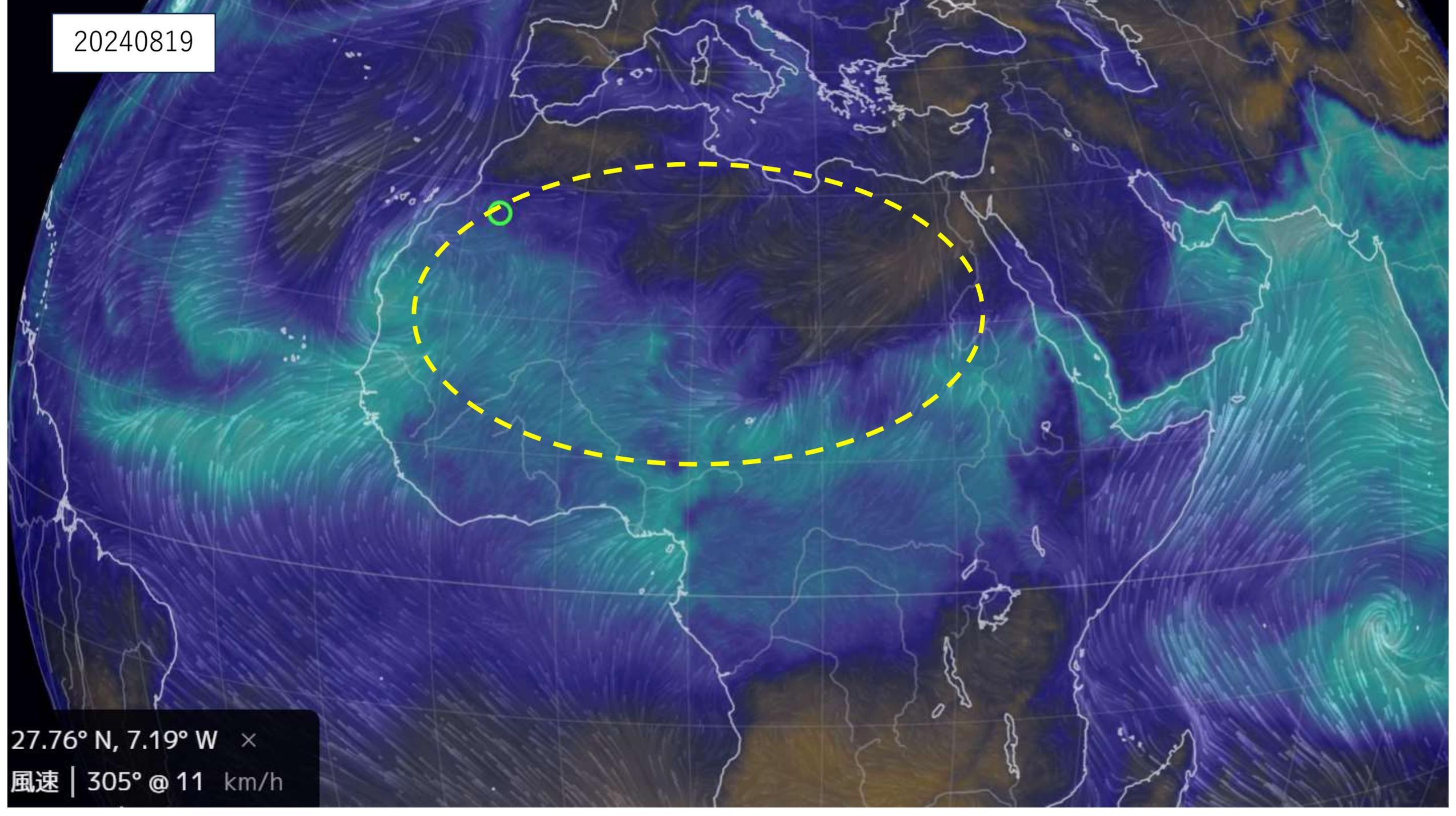
- 前回ボリビアの山火事のニュースを扱いました
- 太平洋のペルー沖に発生した冷水塊（ラニーニャ現象）によってアマゾン地域に十分な湿気が供給されず渇水が起きている
- アフリカでは50年に1度という大雨が降る

世界で広がる異常気象

NEWS

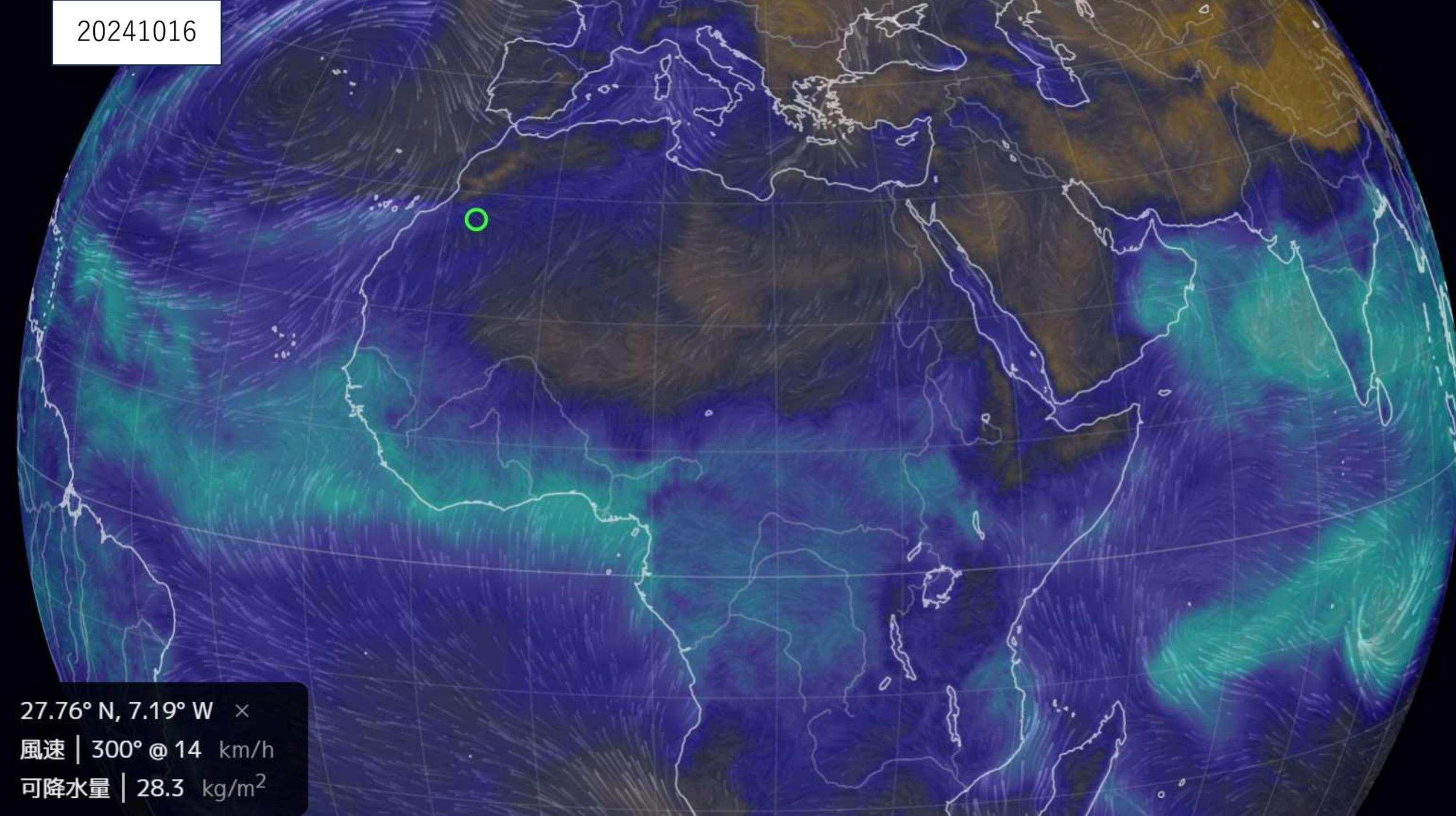


20240819



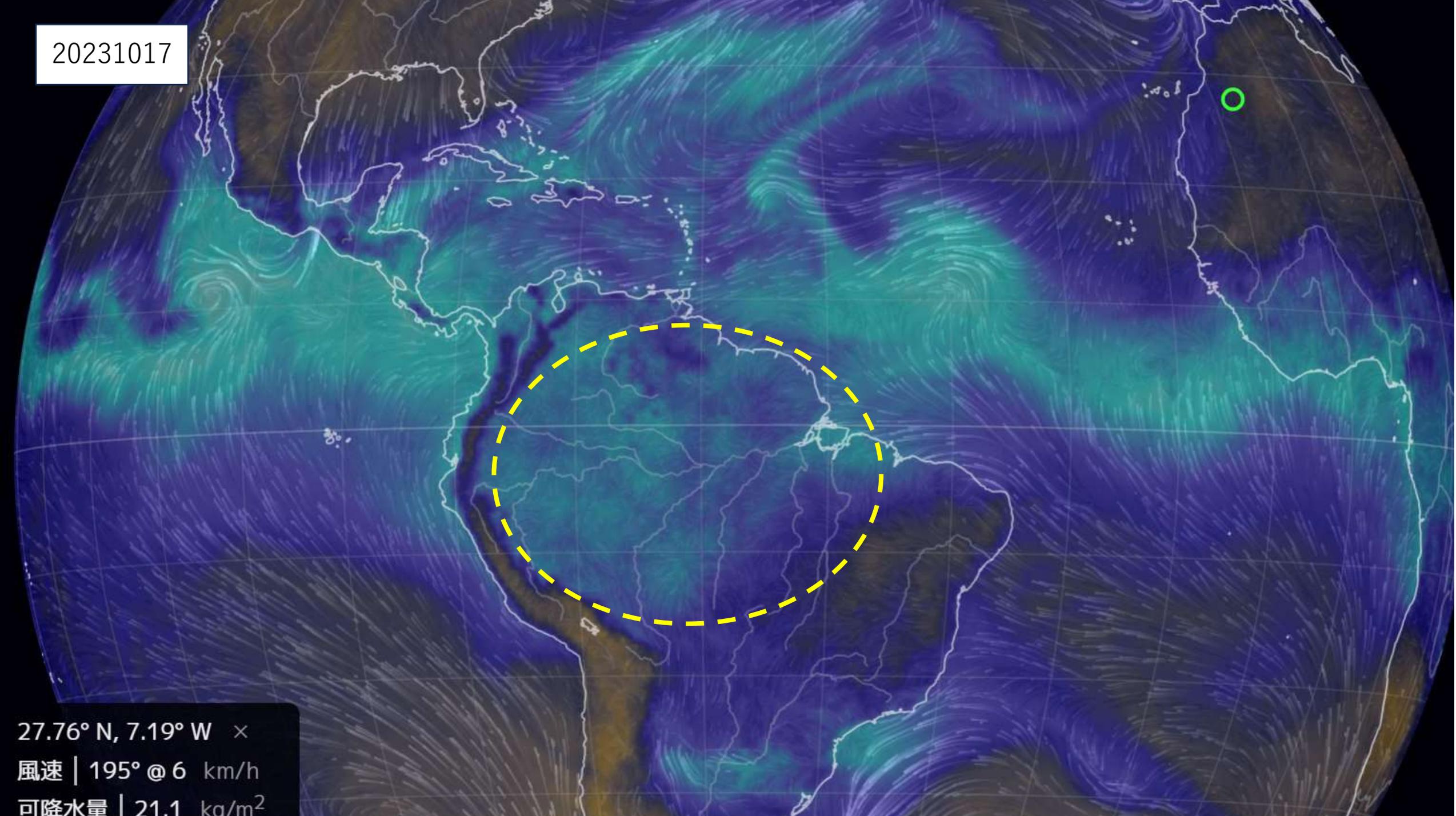
27.76° N, 7.19° W ×
風速 | 305° @ 11 km/h

20241016



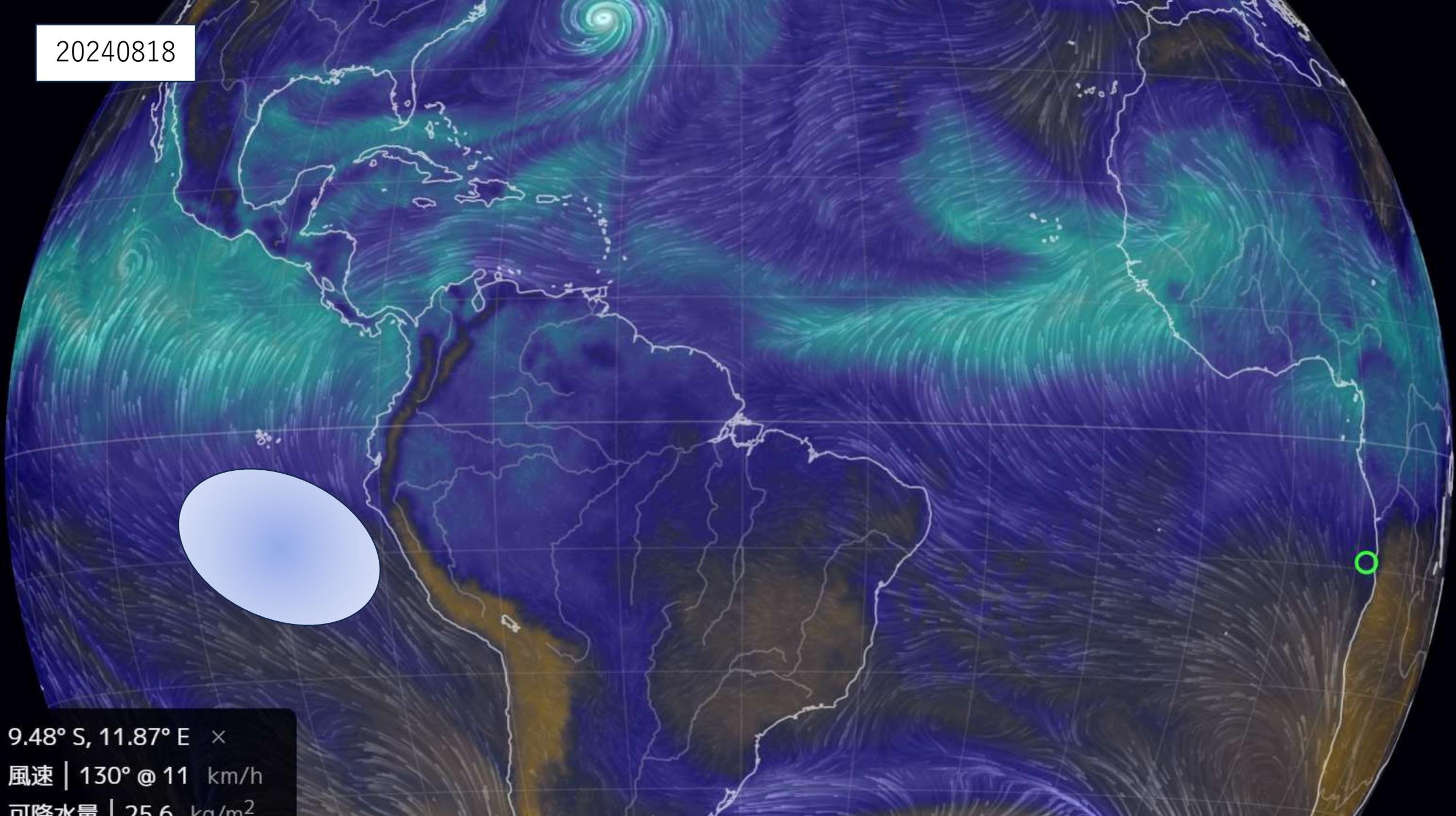
27.76° N, 7.19° W ×
風速 | 300° @ 14 km/h
可降水量 | 28.3 kg/m²

20231017



27.76° N, 7.19° W ×
風速 | 195° @ 6 km/h
可降水量 | 21.1 kg/m²

20240818



9.48° S, 11.87° E ×
風速 | 130° @ 11 km/h
可降水量 | 25.6 kg/m²

世界有数の漁場に異変 「亜寒帯化」で生態系影響 カニ100億匹が死滅・ベーリング海

世界有数の豊かな漁場に異変が起きている。

2021年、北極海に隣接するベーリング海で約100億匹のズワイガニが死滅したと判明。米海洋大気局（NOAA）は、海洋熱波と温暖化でベーリング海が「亜寒帯化」し、生態系が変化したことが大量死の要因と結論付けた。専門家は「世界で最も生産性の高い海洋生態系が、あらゆる予想よりも速く変貌しつつある」と警鐘を鳴らしている。

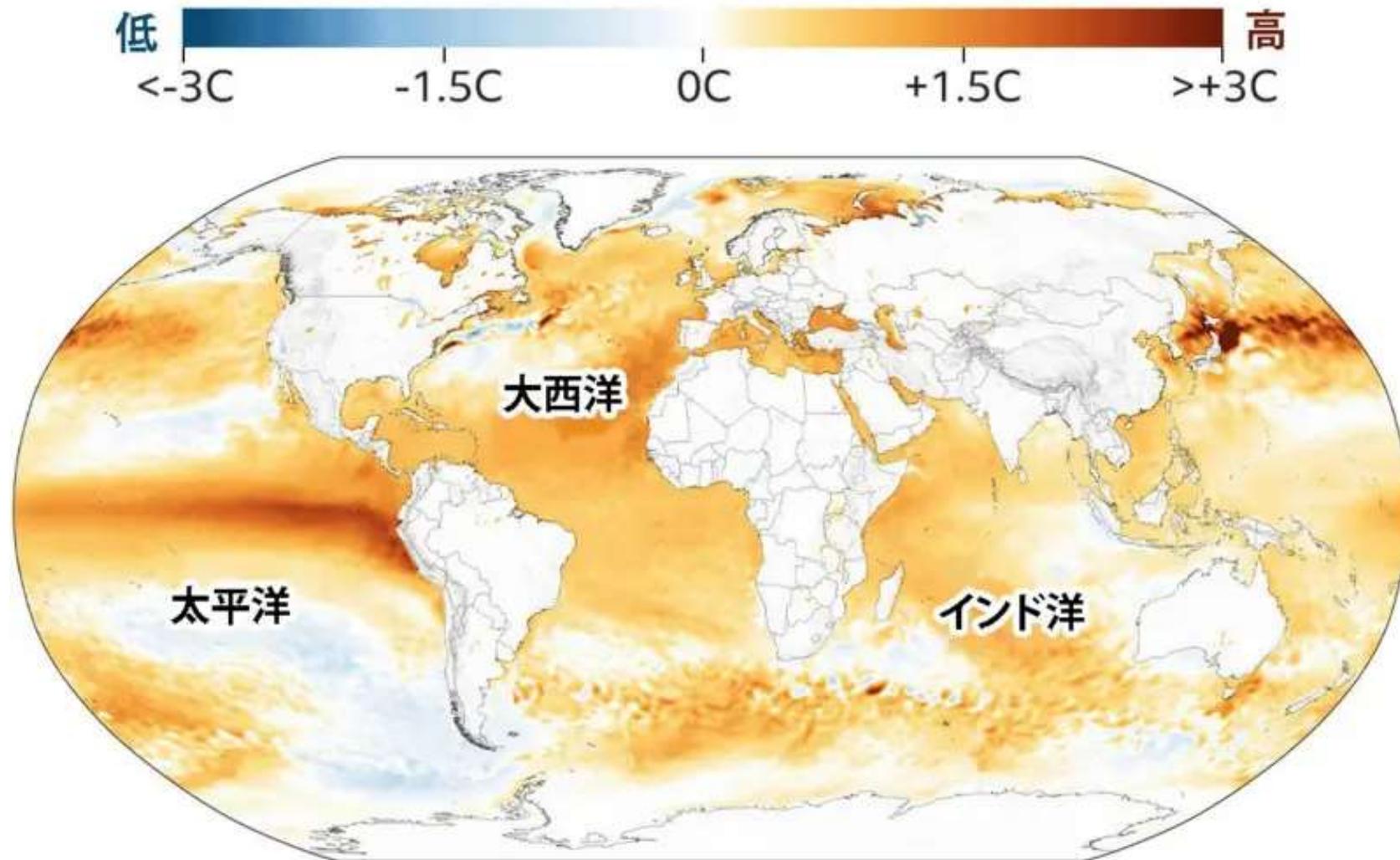
◇海洋熱波で餓死

切り立った岩山に囲まれた湾には野生のラッコが浮かび、崖の上ではハクトウワシが羽を休める。北太平洋とベーリング海を隔てるアリューシャン列島の中ほどに位置する米アラスカ州ウナラスカ。日本の大手水産企業も加工工場を置く漁業の一大拠点だ。スケトウダラやマダラ、オヒョウ、タラバガニ、ズワイガニが主な漁獲物で、冷凍加工後に日本や米国、欧州、中国に輸送される。だが、22、23両年には大量死を受けてズワイガニ漁が禁止された。年2億2700万ドル（約340億円）規模だった水揚げ高はゼロになり、水産業は大きな打撃を受けた。NOAAアラスカ水産科学センターのコーディ・ズワルスキー氏は「18年にはズワイガニが大量に捕れていたため、死滅をまったく予期していなかった」と振り返る。18、19年に海洋熱波がベーリング海を襲い、漁場に大きな変化が起こった。

- この表題だけでは危機感が伝わらず
- 海水温上昇が極地海洋が亜寒帯海洋に
- 海水温上昇でカニが大きくなり食べる海藻が減少
 - > 餓死してしまった
- 22、23年は全面禁漁
 - > 年間320億円が無しに
- たらやカニの漁獲量も激減
- 暖かい海に生息するマナガツオやマンボウ、ビンナガマグロがアラスカ湾やベーリング海で見られるようになった

ほとんどの海洋の水温が例年を上回る

2023年5月～2024年4月の平均海面水温を1991年～2020年の平均と比較



出典: ERA5、コペルニクス気候変動サービス/欧州中期予報センター

BBC

先鋭化する北朝鮮

- ここにきてロシアとの関係を深めている
- 「包括的戦略パートナーシップ条約」を14日ロシア下院に提出
- 他国からの攻撃には共同して対抗することを明記
- 後ろ盾としての中国の存在感が薄れてきている

北朝鮮、南北つなぐ2本の道路爆破 韓国軍 「警戒・監視態勢を強化」

韓国軍の合同参謀本部は15日正午ごろ、北朝鮮と韓国を結ぶ2本の道路の北朝鮮側で一部区間が爆破された、と発表した。北朝鮮軍は韓国と連結する道路や鉄道を完全に遮断し、「要塞（ようさい）化」のための工事を始めると宣言していた。韓国軍は爆破に対抗し、南北の軍事境界線の南側の地域で射撃を実施した。

韓国軍によると、2本の道路はそれぞれ朝鮮半島の東側と西側を走る。韓国軍は事前に爆破の準備状況を確認していた。爆破後には、北朝鮮が重装備を投入して追加作業を進めているという。韓国軍は「警戒・監視態勢を強化している」としている。

北朝鮮は金正恩（キムジョンウン）総書記が昨年未以降、韓国を「敵対国」と位置づけて、平和統一を目指す原則を転換。9日には、北朝鮮軍が「要塞化」を宣言した。宣言の前から南北をつなぐ道路への地雷埋設や、線路を撤去する様子が確認されている。

・今まで南北をつないでいた鉄道や道路を遮断する行為を行う > 国境近辺を要塞化する

- 北朝鮮金正恩氏は韓国を敵対国とする
- 自国の領土を今まで韓国領までを含めていたが今回38度線以北に限定
- 韓国の無人機が平壤に侵入してビラをまいた
- 韓国の敵対行為を批判



- 16日に北朝鮮が公開した写真
- 140万人の若者が軍隊への入隊を志願した
- 20代の男女人口約370万人
- 1/3が入隊したことに
- 北朝鮮軍約120万人



10/17 (木) THE TIME

ロシアの軍事パレード
5月

ウクライナの複数メディア (15日 情報筋の話として)

**“ロシア軍が最大3000人の北朝鮮兵士からなる部隊
「特別ブリヤート大隊」を編成”**

中国の台湾侵攻が秒読みか？

- 今年2回目の台湾近郊での大規模軍事演習を行う
- 航空母艦「遼寧」を太平洋側に派遣
- 大型の大陸間弾道弾の準備を公開
- 航空機も延べ125機を投入
- 公開されたニュース画面では台湾をハンマーで叩き、握り潰し剣で突き刺し血の海が広がる所が映像が流れる

中国が台湾周辺で軍事演習 5月以来「独立勢力を震え上がらせる」

中国軍は14日、台湾周辺で軍事演習を行ったと発表した。

「台湾独立勢力を震え上がらせる」と表明し、中国が「独立派」として警戒する台湾の頼清徳（ライチントー）政権への圧力を高める狙いとみられる。

台湾を取り囲むような演習区域を公表して行う大規模な演習は、2022年8月に米国のペロシ下院議長が訪台した直後と、今年5月の頼氏の就任演説直後に続いて3回目。中国軍の東部戦区などによると、演習はこの日明け方から同日夕まで実施した。5月の演習は2日間にわたったが、今回は1日に短縮した形だ。

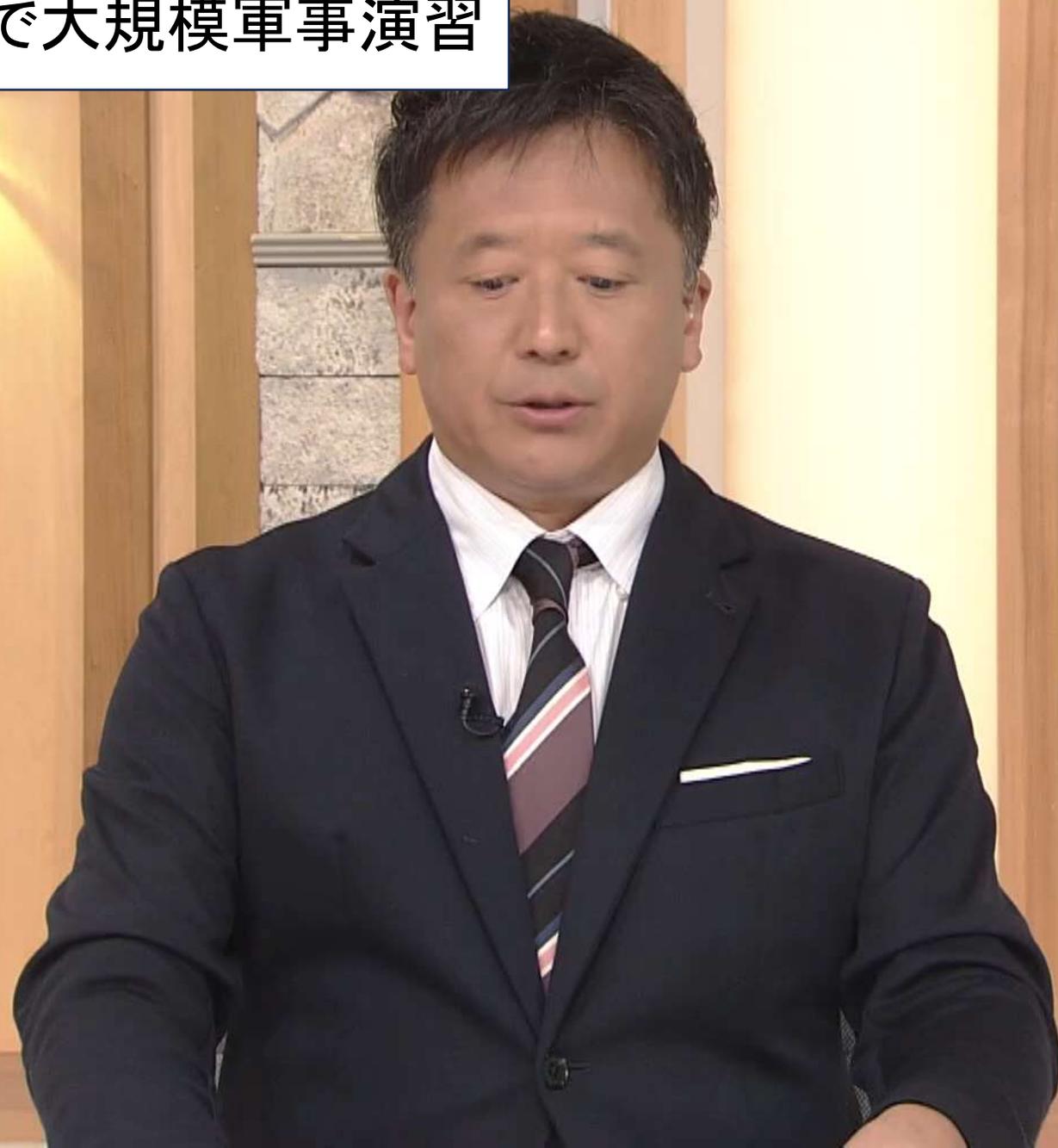
発表された地図では、台湾を取り囲むように六つの演習区域を設定。陸海空とロケットの各軍が参加し、戦区部隊の統合作戦能力を検証したという。

また、中国海警局も14日、四つの編隊が台湾を取り囲むように周辺海域をパトロールすると発表した。同局は5月の演習にも参加しており、軍との連動性を高める狙いがあるとみられる。

台湾国防部（国防省）は14日、中国軍が台湾周辺での軍事演習を宣言した同日午前5時ごろ～同日午後4時半、戦闘機や無人機など中国軍機延べ125機が台湾周辺で活動したことを確認したと発表した。1日あたりで観測した数としては過去最多となるという。

- 10月10日の建国記念日の頼清徳氏の演説
- 中華民国と中華人民共和国は互いに隷属しない」
- 「中華人民共和国に台湾を代表する権利はない」
- これに反応したか
- 今回の演習は1日のみ
- 規模としてはかなり大きかった
- 台湾を牽制する意味付け

中国が台湾周辺で大規模軍事演習



中国は台湾を攻撃するのか

- 中国は台湾を独立国として認めず
- 今年二回目の台湾周辺での軍事演習
- 演習範囲が台湾にどんどん近づいている
- 中国の本気度がにじみ出ている
- 公開されている映像を見る限りは大規模な演習
- しかし、実際にそれだけの規模の軍が動員されたか
- 極端な映像を台湾国民に見せることで敵対心無力化
- 偶発的な衝突が発生する可能性もある

今回の演習の特徴

- 部隊の配置を立体的に示している
- 様々な方向から同時に台湾に接近可能
- > 空母遼寧が太平洋側で戦闘機の発着を行う
- 演習内容が豊富になっている
- > 台湾の主要な港や地域を封鎖するような配置
- > 長距離弾道弾の配置を示す
- 夜間行動を開始
- > 優れた実践能力を実証

中国

中国軍の 軍事演習区域

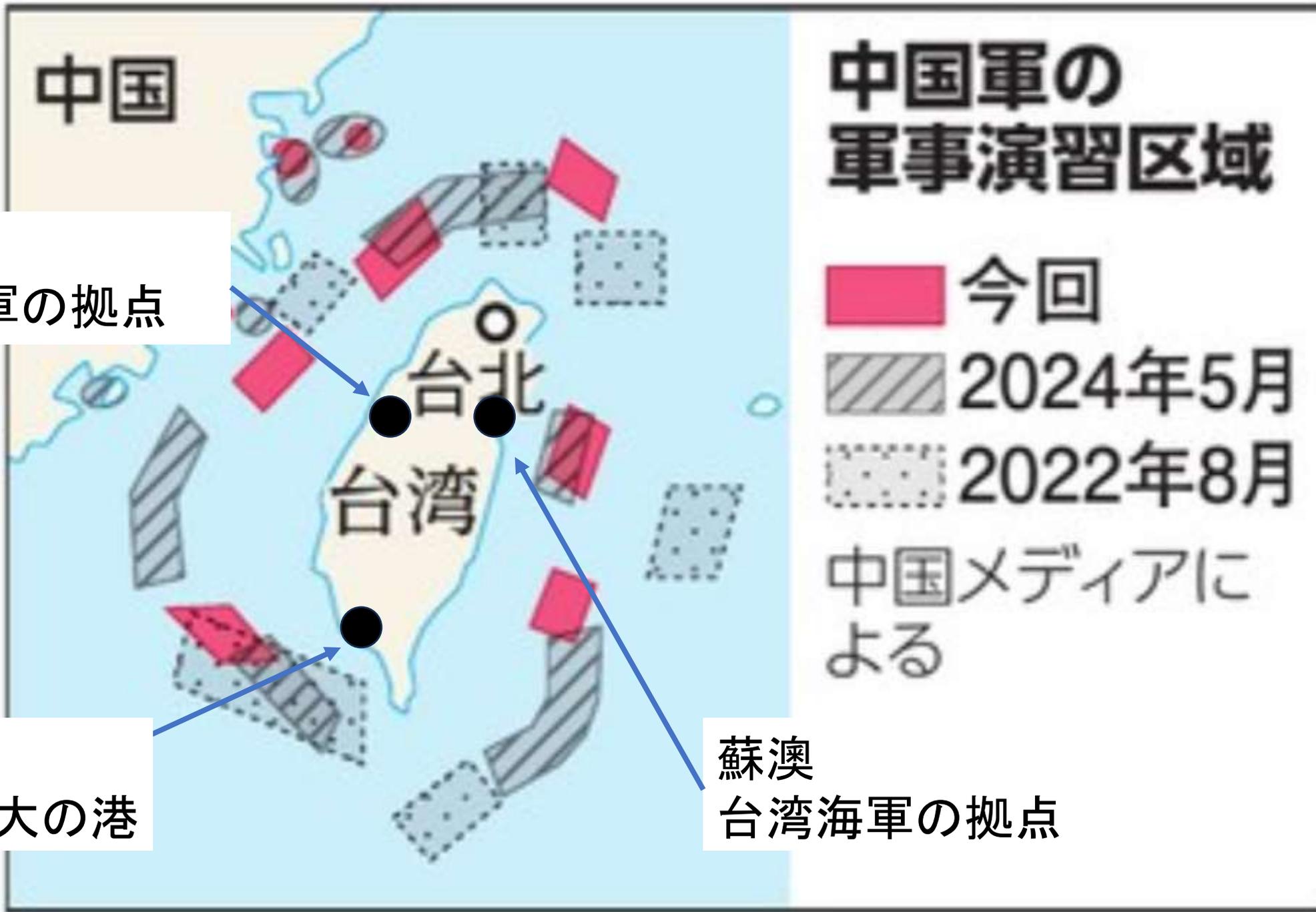
- 今回
 - ▨ 2024年5月
 - ▤ 2022年8月
- 中国メディアによる

台中
台湾空軍の拠点

台北
台湾

高雄
台湾最大の港

蘇澳
台湾海軍の拠点



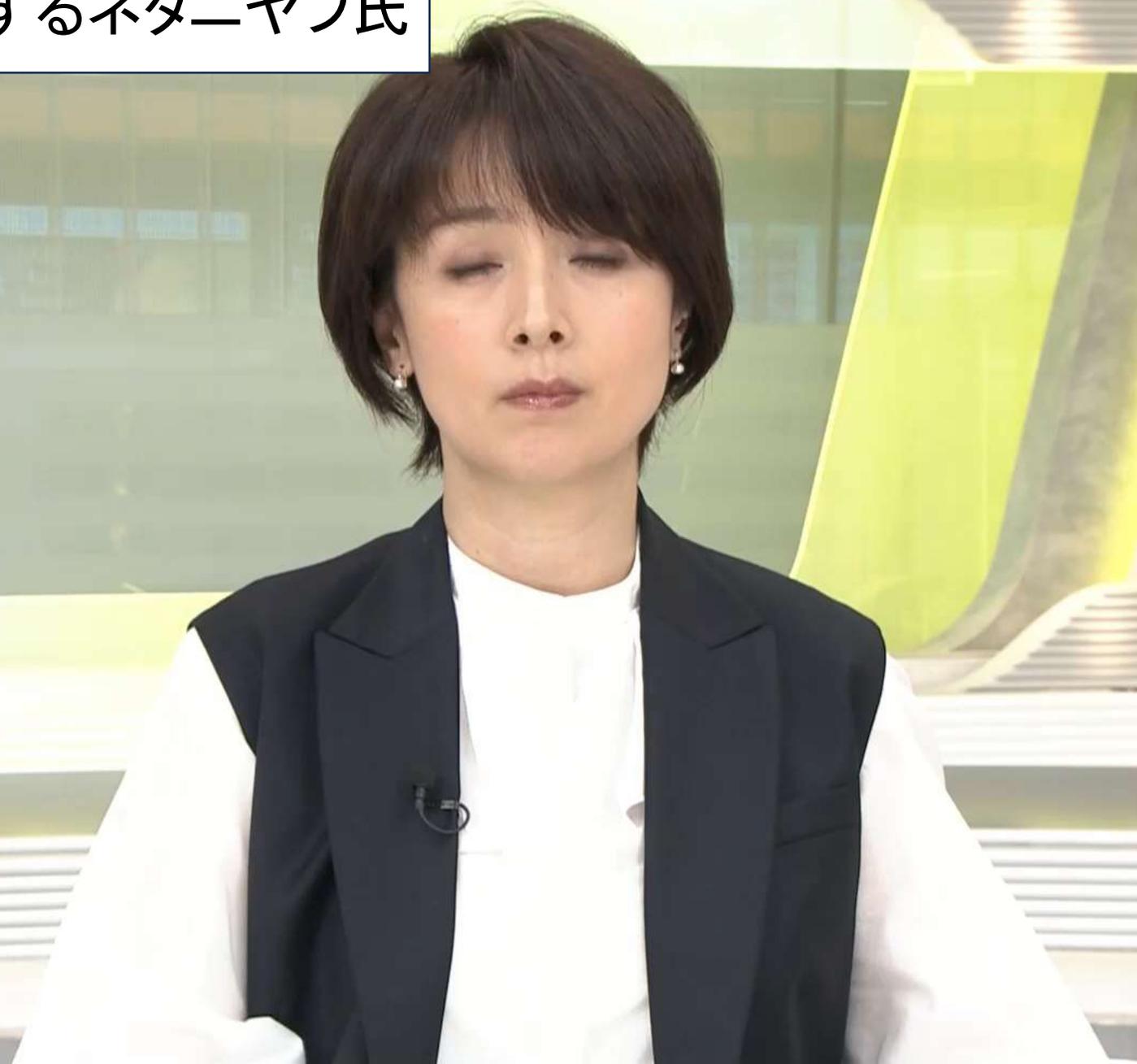
拡大するイスラエル状況

イスラエル ヒズボラの幹部殺害



国連総会で演説するネタニヤフ氏

NEWS



イランがイスラエルをミサイル攻撃した



ハマスとイスラエルの対立から一年

- 昨年10月7日 国境に近い所で行われていた音楽フェスティバル会場をハマスが越境攻撃 イスラエル側に多くの支障者と人質を取られる
- その報復攻撃が始まって1年
- 攻撃を受けたガザ地区では4万人を超える死者
- いまだに攻撃を繰り返し受ける
- 住居のほとんどが破壊される
- 更に難民になったパレスチナ難民はこれからどうしていくのだろうか



今年9月

昨年9月



地球舞
日の映

ガザ地区の現状

- 1年を超す攻撃でガザ地区の惨状があまりにもひどい
- 人口の9割が家を追われる > 190万人
- 一時空爆だけであった攻撃がまた地上戦も復活
- 41909人の犠牲者を出す
- ハマスの殲滅を公言しているがなぜ一般人の被害者が増加するのか
- 産業が破壊され経済的自立は完全にできなくなる
- 病院や学校までも破壊されている > 公衆衛生・教育

映像で再確認した惨状

- 10月6日 NHKスペシャル「ガザ攻撃1年 先鋭化するイスラエル」をご覧になりましたか？
- イスラエルでガザの死んだ赤ちゃんの写真をSNSに上げて拘束された高校教師の話
- イスラエルの正統派ユダヤ人の考える対パレスチナ攻撃の正当性
- ヨルダン川西岸地域に入植するユダヤ人とイスラエル軍
- 侵攻を反対する市民を蹴散らす騎馬警官
- 国連安保理でイスラエルを擁護するアメリカ代表の話

憎悪が憎悪を生んでいるのが現状

- BC6C ユダ王国が滅亡 バビロンの捕囚
- この時から神に約束された土地から追い出された
- その地を守るのが我々の義務である
- イスラエルの歴史教育で叩き込まれるユダヤ人の歴史
- 1年前の事件は現代のホロコーストである
- この行為から国民を守るためには徹底的に攻撃する
- 自分たちを攻撃する可能性のあるものは全て標的
- 殺された憎しみを反撃で晴らそうとする > 憎悪

国連総長入国拒否のイスラエルは「恥知らず」とトルコ大統領が声明

【10月5日 AFP】イスラエルが国連（UN）のアントニオ・グテレス（Antonio Guterres）事務総長を「ペルソナ・ノン・グラータ（好ましからざる人物）」に指定して入国を禁止したことについて、トルコのレジェプ・タイップ・エルドアン（Recep Tayyip Erdogan）大統領は4日、「恥知らず」だと非難した。イスラエルは、自国に対するイランのミサイル攻撃をグテレス氏が速やかに批判しなかったと主張している。

エルドアン氏は南部アダナ（Adana）県で開催された防衛技術見本市で演説し、「（イスラエルは）恥知らずにもグテレス国連事務総長に楯突いている」「世界の196か国（イスラエルを除いたすべての国）は、国連事務総長側に立つだろう」と述べた。

イスラエルは2日、グテレス氏がイランのミサイル攻撃を明確に非難していないとして、「ペルソナ・ノン・グラータ」に指定して入国を禁止した。

イスラエル・カッツ（Israel Katz）外相は声明で「イランの卑劣なイスラエル攻撃を明確に非難できない人物は、イスラエルの地に足を踏み入れる資格がない」と批判。「それはテロリスト、強姦犯、殺人犯を支持している反イスラエルの事務総長のことだ」と糾弾した。

- イスラエルがグテレス国連事務総長を好ましからざる人物に指定
- 指定された人は入国できない
- イランのミサイル攻撃をすぐに批判しなかった
- グテレス氏はテロリスト等を支持する反イスラエルの的なことをしている
- これをトルコの首相が批判

「ガザ同様の破壊」の可能性があるとレバノン国民に警告 イスラエル首相

イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相は8日にビデオ演説を行い、レバノン国民に対し、同国からイスラム教シーア派組織ヒズボラを追い出し、「（パレスチナの）ガザのような破壊と苦しみ」を回避するよう直接求めた。

ヒズボラを標的としたレバノンへの地上侵攻を続けるイスラエルは、レバノン南西部の地域に数千人の兵士を新たに送り込み、その規模を拡大している。ネタニヤフ氏の呼びかけはこうした中で行われた。ネタニヤフ氏はビデオ演説の中で、イスラエル国防軍（IDF）がヒズボラの次期指導者とされるハシュム・サフィディン氏を殺害したとも主張した。しかしIDFは後に、同氏の死亡を確認できていないと明らかにした。IDFは先月末の空爆で、ヒズボラの指導者ハッサン・ナスララ師を殺害。サフィディン氏はナスララ師の後継者とされる。ヒズボラは8日、イスラエルの港湾都市ハイファに向けてロケット弾を一斉に発射した。この攻撃で12人が負傷したとされる。ヒズボラによるハイファ攻撃は3日連続。

ネタニヤフ氏はレバノン国民向けのビデオ演説で、「あなた方には、ガザで見るような破壊と苦しみをもたらす長い戦争という奈落の底へレバノンが落ちる前に、国を救うチャンスがある」と語った。

「レバノンの人々に伝える。ヒズボラから国を解放してください。そうすればこの戦争は終わる」

- **ネタニヤフ氏はレバノンに対してガザのような破壊が起きるかも知れないと**
- **レバノンからヒズボラを追放しない限りそうなる**
- **現在ヒズボラのtop2を殺害したという**
- **かなり正確に攻撃している**
- **バンカーバスター弾を使用**

今問題になっている爆弾



- 最近ガザで爆発による子どもの受傷が問題に
- 手足を失うもの
- 共通するのは小さな穴
- 直径数ミリの金属片により筋肉や内臓が損傷する
- 爆弾の中にタンゲステン鋼の玉が入っている

ガザで使用されたと言われるDIME（高密度不活性金属爆薬）とは

- 同様の兵器が2008～09年のガザ紛争で使用された
- 市街地で使いやすいうように危害半径を小さくする目的で設計
- 弾殻をカーボン製することで破片が出ない
- タングステンを使うのは爆発の熱で燃え尽きない
- 生き残った人は治療が困難な重金属の粉末が体内に残る > 非人道的武器といえるのか
- しかし、余りに酷い武器であることは確か

「国際人道法の重大な違反だ」フランス、イタリア、スペイン首脳が共同声明…イスラエル軍がレバノン駐留の国連軍を2日続けて攻撃し兵士2人負傷

イスラエル軍が11日、国連レバノン暫定軍を2日続けて攻撃したことを受け、各国から非難が相次いでいます。

レバノン南部で平和維持活動を行う国連レバノン暫定軍は11日、イスラエル軍による攻撃で兵士2人が負傷したと明らかにしました。

この攻撃についてイスラエル軍は親イラン武装組織ヒズボラとの戦闘中に起きたものだと認めた上で、発砲前に国連軍に対し、安全な場所にとどまるよう指示したと釈明しています。レバノン南部では前日にも同様の発砲で、国連軍の兵士2人が負傷しています。

こうした事態を受け、フランス、イタリア、スペインの首脳は11日、共同声明を発表し、「平和維持部隊への攻撃は国際人道法の重大な違反だ」などとして、イスラエルに対し国連軍への攻撃をただちに停止するよう求めました。

アメリカのバイデン大統領も11日、平和維持部隊を攻撃しないようイスラエルに要請すると述べるなど各国から非難が相次いでいます。

- **イスラエル軍のレバノン攻撃は過激になって来ている**
- **ガザと同様の作戦を展開すると言っている**
- **安全な場所に退避するように指示した**
- **ガザでも同様に住民避難を指示したといいながら攻撃している**
- **軍を高い規律の中でしっかりコントロールできていると言えるのだろうか**

イスラエル駐日大使「80年前の日本との比較は不適切」…平和賞の被団協代表委員発言を批判

イスラエルのコーヘン駐日大使は13日までに、ノーベル平和賞授与が決定した日本原水爆被害者団体協議会（被団協）の代表委員が、イスラエル軍とイスラム組織ハマスの戦闘が続くパレスチナ自治区ガザの状況と80年前の日本を比較したことを「不適切かつ根拠に欠ける」と非難した。X（旧ツイッター）に投稿した。

代表委員で広島県原爆被害者団体協議会（広島県被団協）の箕牧智之理事長は平和賞が決まった11日の会見で、ガザの状況を「子どもが血をいっぱい出しているのは80年前の日本と重なる」と語った。コーヘン氏は投稿で、ガザはハマ스에支配されており「自らの市民を人間の盾にしている」と強調した。

コーヘン氏は「平和と正義を追求する功績」が評価されたとして被団協への平和賞授与決定を祝福。一方で、昨年10月にイスラエルがハマスの奇襲を受けた際には「被団協代表委員からの声明は見当たらなかった」とも指摘した。

- 被団協のノーベル平和賞受賞について各国が賞賛している

- 国連 EU ドイツ アメリカが声明を出す

- イスラエルも受賞を祝福

- しかし代表が原爆投下後の状況とガザの状況が重なって見えると発言したことを批判

・ガザの惨状はハマスが一般市民を人間の盾にした結果であり我々の責任ではない

レバノン国内の爆撃で市長も死亡



ウクライナ情勢

プーチン大統領「すべての目的を達成する」ウクライナ4州併合宣言から2年 侵攻継続の構え

ロシアがウクライナの4つの州の一方的な併合を宣言してから2年になるのにあわせて、プーチン大統領は「すべての目的を達成する」と改めて侵攻を継続する姿勢を示しました。

プーチン大統領は、ウクライナ東部・南部の4つの州を併合すると一方的に宣言してから9月30日で2年となるのにあわせ、国民に向けてビデオメッセージを公開しました。その中でプーチン氏は、ウクライナ侵攻に至ったのは、欧米がウクライナに対し「ロシアへの敵意をあり、武器を供与し、戦争の準備をさせた結果だ」などと述べ、原因は欧米側にあると主張しました。

そのうえで、プーチン氏は「団結と愛国心に感謝する。すべての目的は達成されるだろう」と述べ、侵攻を継続する姿勢を改めて示しました。

一方、ウクライナ側は今年8月にロシア西部クルスク州への越境攻撃を開始。ロシア領内の軍事施設や石油施設などへのドローン攻撃を強めています。

9月29日には、南部ボルゴグラード州にある兵器庫を攻撃したと発表。この兵器庫には、前日にイランから供与されたミサイルが搬入されたとの情報があったとしています。

- **ウクライナ東南部の4州をロシア領に併合すると発表して2年**

- **侵攻はウクライナに武器を供与した西側諸国の責任**

- **侵攻継続を強調**

- **ドネツク州全域を占領するのが目的か**

- **現状ではどちらが有利かを説明できない**

ロシアも戦争継続に苦しんでいる

- ウクライナによるロシア領侵入に効果的な対応が出来ない
- ロシア領内の施設への相次ぐ攻撃で打撃が大きい
- 現在までの死傷者数がかかなり多くなっている
- 刑務所にいる囚人を兵力にしたがそれも行き詰る
- 6月に市民権を得た外国人1万人を徴兵
- 諸外国から非難され大幅には実行できず
- 10月2日 裁判中の被告を戦地に送る法案を通す

ロシア軍によるウクライナ侵略の状況(2024年9月30日時点)

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

ロシア軍

- ：死者約18万人（ゼレンスキー大統領24年2月25日）
- ：死者約20万人、負傷者約40万人（ウォール・ストリート・ジャーナル24年9月17日）
- ：死傷者61万人以上（英国防省24年9月17日）

ウクライナ軍

- ：死者約3.1万人（ゼレンスキー大統領24年2月25日）
- ：死者約8万人、負傷者約40万人（ウォール・ストリート・ジャーナル24年9月17日）

ウクライナ市民

- ：死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上（国際連合24年2月22日）

ロシア軍の人的損失「最高記録」を更新？ 死傷者数が大幅増か 英国防省が要因を分析

5月以降に死傷者が急増

イギリス国防省は2024年10月7日、ウクライナへの侵攻を続けるロシア軍の死傷者数が、2024年9月に月間最高記録を更新したとの見解を発表しました。

同国防省によると、9月におけるロシア軍の1日平均死傷者数は1271人で、2024年5月の月間最高記録である1262人を上回ったとのこと。2022年2月の全面侵攻開始以降、ロシア軍は累計で64万8000人以上の死傷者を出した可能性があるとしています。

死傷者数が2024年5月以降に増加した要因は、ウクライナ北東部のハルキウ州やロシア西部のクルスク州に戦闘地域が拡大し、戦いが激化したことがあると指摘。ロシア軍は今後も、大量の兵力で圧力をかけ、ウクライナ軍の戦力を引き伸ばして戦術的な利益を追求しようとする可能性が高いと推測しています。

また、ロシア軍は車両から下りて戦う下車戦闘に依存しており、冬季は機動戦にも不向きなため、今後も死傷者数が1日平均で1000人を超える可能性が高いとしています。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は2024年9月30日、「前線は非常に困難な状況にあり、今秋に達成できることは全て達成しなければならない」と発言。

- 10月10日配信されたニュースに載っていたもの
- イギリス国防省が分析
- ロシアの死傷者数がここに来て急増している
- 今までの死傷者数は64.8万人という
- ロシアの大兵力でウクライナ東部の制圧を押し進める
- 1日平均1000人の死傷者

ウクライナのロシア支配地で北朝鮮軍将校6人が死亡、ミサイル攻撃に巻き込まれたと報道

<ロシアの「軍事同盟」先として存在感を強める北朝鮮。ウクライナの攻撃で、北朝鮮がロシアに武器・弾薬を売るだけでなく、訓練のために軍人をロシアに派遣する人的交流も始めている、という観測が裏付けられた>

ウクライナ東部ドネツク州のロシアが実効支配する地域で10月3日、北朝鮮の兵士6人が死亡したと、ウクライナの複数のメディアが4日、伝えた。

メッセージアプリのテレグラムのロシア語チャンネル「クレムリンの嗅ぎタバコ入れ」によれば、さらに3人の北朝鮮軍の将校が攻撃でけがをし、治療のためにモスクワに移送されたという。このチャンネルは匿名の軍関係者の話として、攻撃を受けた際に北朝鮮の将校たちは訓練場において、ロシア軍兵士から「攻撃や防御の訓練や、アメリカの武器への対処法」について説明を受けていたと伝えた。

ウクライナ国防省情報総局（GURMO）は昨年、北朝鮮の軍関係者がドネツク周辺のロシア支配地域に到着したとの見方を示していた。一方で、ウクライナ軍の関連組織である国民抵抗センターは昨年9月23日、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領が北朝鮮の金正恩総書記に対し、ドネツク州とルハンスク州のロシア支配地域に建設労働者を派遣するよう求めたと伝えた。

- ウクライナの前線での攻撃で北朝鮮軍の将校が死亡や負傷した
- ロシアと北朝鮮の間で包括的戦略パートナーシップ条約を締結
- 武器弾薬を供与
- 北朝鮮側は実戦での状況を視察したか
- ロシア側が建設労働者の派遣を希望

韓国国防省 北朝鮮軍のウクライナ派兵
の可能性示唆



ロシアが欧州へ「移民」「難民」を大量に送り込んでい る！ 日本人記者が国境地点で見た「異様な光景」

排除か、保護か——ロシアから送り込まれる移民・難民がいま、欧州の価値観を大きく揺さぶっている。混迷を深めるロシア・ウクライナ戦争の、新たな“戦場”ともいうべき国境地帯を『移民・難民たちの新世界地図』を著したジャーナリストの村山祐介氏が取材した。2022年2月に始まったロシアの侵攻から2年半余り。今なお激しい戦闘が続くロシア・ウクライナ戦争は、ウクライナのみならず、欧州全体に大きな影響を与えている。

7月2日から約2週間、私はロシアおよび親ロシア国家ベラルーシと国境を接するポーランド、バルト3国、フィンランドを取材した。そこで見たのは、「要塞化」する欧州の現実だった。

ベラルーシと接するポーランド東部ビャオビエジャ。国境線は「欧州最後の原生林」と呼ばれる森の中にある。7月5日朝、林道に車を止めて国境のフェンスへカメラを向けた私は、すぐに駆け付けた警察車両に制止された。国境から約200メートルの区域が立ち入り禁止になるのは2年ぶりのことである。広大な国境の森林地帯から中東出身者ら数千人が突然、ポーランドに密入国を始めたのはウクライナ侵攻前年の2021年夏のことだった。ポーランドは欧州域内を自由に移動できるシェンゲン協定の東部境界にあたる。ここを越えればドイツなどへ行けると、SNSを通じて世界中の移民・難民たちに拡散した。だがポーランド政府は非常事態を宣言し、彼らを国境の外へ「プッシュバック」（押し返し）して、高さ5.5メートルの鉄条網付きフェンスを186キロにわたって構築、監視カメラや熱探知システムを整えた。

- ポーランドやバルト3国、フィンランド国境
- 移民兵器と言われる攻撃
- ウクライナ侵攻以前から存在
- 現在も続行中
- イランやアフガニスタン、サハラ以南の人たち
- シェンゲン条約がある

ロシア国境に作られた柵



移民兵器という圧力

- シェンゲン条約によってポーランドに入国できればEU内に自由に移動できる
- 国境にはベラルーシからの移民が殺到していた
- 現在はロシア連邦保安局の兵士が同行することも
- ポーランドはプッシュバック作戦 > UNHCRは国際法違反と判断
- 今年の上半期だけで2万件以上の事案
- アルジェリア人家族の場合 ロシアで生活→召集令状→逃亡
- アフガニスタン女性の場合 義父が身売り→逃亡しロシアで学生→学生ビザでEUへ→ベラルーシ国境 スコップ渡され越境
- 徒歩での越境は違反ということで自転車で来る移民も多い

ロシアの動員、悲惨な実態 「これはやばいよ」 新兵SNSで訴え次々

穴の開いた防弾チョッキやさびた自動小銃――。ウクライナへの侵攻を続けるロシアで、9月に始まった部分的動員の悲惨な現状を伝えるSNSの投稿が続いている。「（配置前の）訓練はないと告げられた」と涙ながらに訴える人までいる。プーチン政権は動員で侵攻の劣勢を覆す考えだが、早くも動員による戦死者が出ており、士気の低下は深刻だ。

黒い目出し帽をかぶった軍服姿の男性が、穴が開き、テープで補修された防弾チョッキを見せている。

今月にSNSで広まった、動員されたとみられる男性の写真だ。男性はロシアが支配するウクライナ南部クリミア半島出身で、写真を投稿した男性の親族は、投稿の中でこうつぶった。「どんな装備で人々を戦いに送るつもりなのか」

これとは別に広まった動画では、「何も言えない。これはやばいよ」と嘆く別の男性の声が聞こえる。手に取っているのは支給された自動小銃で、さびだらけだった。

ロシアのプーチン大統領は9月21日、予備役兵を対象にした部分的な動員を発表した。9月にウクライナ東部の要衝を失うなど、劣勢は日に日に明らかになってきたためだ。

だが、動員を逃れるための出国が相次ぎ、反対デモも起きた。強引な動員も次々と伝えられ、国民の士気を向上させるどころか、不安を広げている。

- ロシアで不安が広がる
- 新規徴集兵が訓練無しに前線へ
- 防弾チョッキや包帯までも自分で用意
- 出兵して1月未満で戦死することも増加
- 国家の戦争から個人の戦争に変化していることをプーチン氏は見落としている
- 国民の意識が変化してきている